

大学番号：私立301

注3

[平成31年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

届出

久留米大学大学院 医学研究科 総合生命科学・バイオ統計学専攻（修士課程）

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 久留米大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部事務部庶務課

職名・氏名 課長 ^{カワノ}河野 ^{タイキ}大樹

電話番号 0942-31-7527

（夜間） 0942-35-3311

F A X 0942-31-4374

e-mail igakubu_syomu@kurume-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

•大学の設置の場合：「〇〇大学」

•学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

•学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

•短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

•大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

•大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

•大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

•通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

久留米大学大学院

<医学研究科総合生命科学・バイオ統計学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人久留米大学

(2) 大学名

久留米大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒830-0011

福岡県久留米市旭町67番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガタ ケンセイ) 永田 見生 (平成29年1月)		
学長	(ナガタ ケンセイ) 永田 見生 (平成24年1月)	(ウチムラ ナオヒサ) 内村 直尚 (令和2年1月1日)	選任のため変更、令和2年1月1日(2)
研究科長	(ヤノ ヒロヒサ) 矢野 博久 (平成27年4月)	(コウダ ヨシロウ) 神田 芳郎 (平成31年4月)	選任のため変更、平成31年4月1日(元)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください）。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学研究科 総合生命科学・バイオ統計学専攻 修士(医科学)	医学関係	2	8	—	16	医学研究科 変更前入学定員10人、平成31年4月(元)
医科学専攻 修士(医科学)	医学関係	2	8	—	16	
看護学専攻 修士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	2	15	—	30	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	8 () [-]	-	8 () [-]	-	0.62倍	—倍	
志願者数	5 () [-]	-	7 () [-]	-			
受験者数	4 () [-]	-	7 () [-]	-			
合格者数	4 () [-]	-	7 () [-]	-			
B 入学者数	4 () [-]	-	6 () [-]	-			
入学定員超過率 B/A	0.50		0.75				

- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和2年度		備 考
	令和元年度	令和2年度	春季入学	その他の学期	
1年次	4	-	6		
	[-] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	
2年次	/		3		
			[] ()	[] ()	
計	4		9		
	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	4 人	1 人	令和元年度	1 人	0 人	死亡除籍
令和2年度	9 人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		1 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{4} = \boxed{25} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学研究科 修士課程総合生命科学・バイオ統計学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必	選	自	教	准	講	助		助
			修	択	由	授	授	師	教		手
基礎科目	人体構造学	1・2前	2							3	
	人体機能学	1・2前	2			1				5	
	臨床医学概論	1・2前	2							10	
	社会医学概論	1・2後	1							5	
	物理学特論	1・2後	1							2	
	生物学特論	1・2前	1							2	
	化学特論	1・2後	1							1	
	医学教育学	1・2前	1							1	
	生命倫理I	1・2前	1							1	
	臨床遺伝学	1・2後	1							2	
	移植医学	1・2後	1							1	
	リハビリテーション医学	1・2後	1							2	
	医学工学概論	1・2後	1							7	
	実験動物学	1・2後	1							1	
	看護理論	1・2前	2							4	
	看護倫理	1・2前	2							3	
	コンサルテーション論	1・2前	2							2	
	リサーチナース・C	1・2後	2			1				9	
	RC養成ユニット										
	先端的・分野特異的	1・2通	2							1	
	研究手法体験ユニット										
	看護研究方法	1・2前	2							2	
	看護政策論	1・2後	2							4	
	バイオ統計基礎ユニット	1・2前	1					1			
	バイオ統計応用ユニット	1・2前	2			1		1			
	知的財産権論	1・2後	2							2	
臨床研究入門	1・2通	2							1		
医療サービス統計論	1・2後	2			1				1		
医療サービス知識創造論	1・2後	2							1		
医療サービス・イノベーション論	1・2後	2							1		
臨床薬理学概論	1・2後	2							5		
フィジカルアセスメント	1・2前	2							4		
病態生理学	1・2後	2							5		
小計(31科目)	-		50		2		1		-	68	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必	選	自	教	准	講	助		助
			修	択	由	授	授	師	教		手
基礎科目	人体構造学	1・2前	2							3	
	人体機能学	1・2前	2			1				5	
	臨床医学概論	1・2前	2							10	
	社会医学概論	1・2後	1							4	
	物理学特論	1・2後	1							2	
	生物学特論	1・2前	1							4	
	化学特論	1・2後	1							1	
	医学教育学	1・2前	1							1	
	生命倫理I	1・2前	1							1	
	臨床遺伝学	1・2後	1							3	
	移植医学	1・2後	1							1	
	リハビリテーション医学	1・2後	1							2	
	医学工学概論	1・2後	1							4	
	実験動物学	1・2後	1						1	0	
	看護理論	1・2前	2							4	
	看護倫理	1・2前	2							3	
	コンサルテーション論	1・2前	2							2	
	リサーチナース・C	1・2後	2					1		9	
	RC養成ユニット										
	先端的・分野特異的	1・2通	2							1	
	研究手法体験ユニット										
	看護研究方法	1・2前	2							2	
	看護政策論	1・2後	2							3	
	バイオ統計基礎ユニット	1・2前	1					1	1		
	バイオ統計応用ユニット	1・2前	2			1		1	0		
	知的財産権論	1・2後	2							2	
臨床研究入門	1・2通	2							1		
医療サービス統計論	1・2後	2			1		2		1		
医療サービス知識創造論(未開講)	1・2後	2							1		
医療サービス・イノベーション論	1・2後	2							1		
臨床薬理学概論	1・2後	2							5		
フィジカルアセスメント	1・2前	2							4		
病態生理学	1・2後	2							5		
小計(31科目)	-		50		2		3	1	1	-	64

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用科目(総合生命科学)	研究マネジメント	1前		2		1						
	サイエンスコミュニケーション	1前		2		3	1	1				1
	科学文章の書き方と論文作成	1後	2			3						
	研究倫理	1前	2			3	1	2				
	バイオベンチャー論	1後		2								2
	分子細胞生物学	1前・後	2			3	1	2	2			1
	ゲノム生物学概論	1前・後	2			1		1				
	疾患の生命科学	1前		2		2						
	細胞内オルガネラの分子生物学	1前		2				1	1			
	細胞シグナリング	1前		2		1	1	1				
	臓器相関の分子生物学	1後		2		2	1					
	摂食調節・ストレス・老化の科学	1後		2		1	1					
	生体のエネルギー代謝科学	1後		2		2	1	1	1			
	バイオサイエンス実験法	1後	2			3	1	2	2			1
	バイオサイエンス実験法(実習)	2前	2			3	1	2	2			1
	実験動物のサイエンス	1後	2				1		1			
	実験動物のサイエンス(実習)	2前	2				1		1			
	モデル生物のサイエンスI: 酵母	1後		2		1						1
	モデル生物のサイエンスI: 酵母(実習)	2前		2		1			1			
	モデル生物のサイエンスI: ショウジョウバエ、線虫	1後		2				1				1
	モデル生物のサイエンスII: ショウジョウバエ、線虫(実習)	2前		2				1				1
	バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論	2後		2			1					1
	バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論(実習)	2前		2			2					
	バイオサイエンス研究のprotocols作成と研究デザイン	2後		2			2					
	バイオサイエンス研究のprotocols作成と研究デザイン(実習)	2前		2								2
	バイオベンチャー・イノベーション	2前	2									
小計(26科目)	-	18	34		4	3	2	3			6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用科目(総合生命科学)	研究マネジメント(未開講)	1前		2		1						
	サイエンスコミュニケーション	1前		2		3	1	1				0
	科学文章の書き方と論文作成	1後	2			2						
	研究倫理	1前	2			2	1	2				
	バイオベンチャー論	1後		2								0
	分子細胞生物学	1前・後	2			1	0	0	0	0		0
	ゲノム生物学概論	1前・後	2			1		0				
	疾患の生命科学	1前		2		1						
	細胞内オルガネラの分子生物学	1前		2				1	0			
	細胞シグナリング	1前		2		0	0	1				
	臓器相関の分子生物学	1後		2		1	1					
	摂食調節・ストレス・老化の科学	1後		2		1	1					
	生体のエネルギー代謝科学	1後		2		1	1	0	0			
	バイオサイエンス実験法	1後	2			1	0	0	2			0
	バイオサイエンス実験法(実習)	2前	2			1	0	0	2			0
	実験動物のサイエンス	1後	2				0		1			
	実験動物のサイエンス(実習)	2前	2				0		1			
	モデル生物のサイエンスI: 酵母	1後		2		1						0
	モデル生物のサイエンスI: 酵母(実習)	2前		2		1			2			
	モデル生物のサイエンスI: ショウジョウバエ、線虫	1後		2		1		1				0
	モデル生物のサイエンスII: ショウジョウバエ、線虫(実習)	2前		2		1		1				0
	バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論	2後		2				0				1
	バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論(実習)	2前		2				0				1
	バイオサイエンス研究のprotocols作成と研究デザイン	2後		2			1					
	バイオサイエンス研究のprotocols作成と研究デザイン(実習)	2前		2			1					
	バイオベンチャー・イノベーション(未開講)	2前	2				1					0
小計(26科目)	-	18	34		3	1	2	3			0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門応用科目 (バイオ統計学)	生命倫理Ⅱ	1・2後	2		1							
	臨床試験の基礎とデータ解析	1後	2		1							
	医用データ解析	1前	2								1	
	バイオデータ解析入門	1前	2		1	1						
	観察データ解析概論	1前	2								1	
	ゲノムサイエンス概論	1前	2								1	
	バイオインフォマティクス特論Ⅰ	1前	1								1	
	薬物動態・薬力学データの解析	1後	1								1	
	バイオ統計基礎	1前	4		2	1	1					
	バイオ統計数理	1前	4		1		1					
	生存分析とその応用	1後	2								1	
	観察データ解析特論Ⅰ	1前	1								1	
	バイオ統計セミナーⅠ	1・2前	3		2	3	1				1	
	バイオインフォマティクスセミナーⅠ	1・2前	3		2	2	1				1	
	プロトコル作成と研究デザイン	2前	1			1						
	観察データ解析特論Ⅱ	1後	1								1	
	バイオインフォマティクス特論Ⅱ	2前	1								1	
	バイオ統計セミナーⅡ	1・2後	4		2	2					1	
	バイオインフォマティクスセミナーⅡ	1・2後	4		2	3	1				1	
	環境データ解析特論	1後	1		1						1	
	バイオデータモデリング	1後	2			1						
	バイオデータマイニング	1前	2								1	
	臨床データ解析特論	1後	1								1	
	小計(26科目)	-		48		2	3	1		-		13
	合計(80科目)	-		18	132	0	5	5	3	3		87
	卒業要件及び履修方法											
(総合生命科学専攻)基礎科目の選択科目から10単位、専門応用科目(総合生命科学)の必修科目18単位、専門応用科目(総合生命科学)の選択科目8単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した者。 (バイオ統計学専攻)専門応用科目(バイオ統計学)の選択科目30単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した者。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門応用科目 (バイオ統計学)	生命倫理Ⅱ	1・2後	2		1							
	臨床試験の基礎とデータ解析	1後	2		1							
	医用データ解析	1前	2								1	
	バイオデータ解析入門	1前	2		1	0						
	観察データ解析概論	1前	2								1	
	ゲノムサイエンス概論	1前	2								1	
	バイオインフォマティクス特論Ⅰ	1前	1								1	
	薬物動態・薬力学データの解析	1後	1								1	
	バイオ統計基礎	1前	4		1	1	1					
	バイオ統計数理	1前	4		1	1	1					
	生存分析とその応用	1後	2								1	
	観察データ解析特論Ⅰ	1前	1								1	
	バイオ統計セミナーⅠ	1・2前	3		2	2	1				3	
	バイオインフォマティクスセミナーⅠ	1・2前	3		2	2	1				3	
	プロトコル作成と研究デザイン	2前	1		1							
	観察データ解析特論Ⅱ	1後	1								1	
	バイオインフォマティクス特論Ⅱ	2前	1								1	
	バイオ統計セミナーⅡ	1・2後	4		2	2	1				3	
	バイオインフォマティクスセミナーⅡ	1・2後	4		2	2	1				3	
	環境データ解析特論	1後	1		1						1	
	バイオデータモデリング	1後	2			1						
	バイオデータマイニング	1前	2								1	
	臨床データ解析特論	1後	1								1	
	小計(26科目)	-		48		2	2	1		-		15
	合計(80科目)	-		18	132	0	5	4	3	3		81
	卒業要件及び履修方法											
(総合生命科学専攻)基礎科目の選択科目から10単位、専門応用科目(総合生命科学)の必修科目18単位、専門応用科目(総合生命科学)の選択科目8単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した者。 (バイオ統計学専攻)専門応用科目(バイオ統計学)の選択科目30単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した者。												

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基 礎 科 目	人体構造学	1・2前		2								3	
	人体機能学	1・2前		2		1						5	
	臨床医学概論	1・2前		2								10	
	社会医学概論	1・2後		1								4	
	物理学特論(未開講)	1・2後		1								2	
	生物学特論	1・2前		1								2	
	化学特論(未開講)	1・2後		1								1	
	医学教育学	1・2前		1								1	
	生命倫理I	1・2前		1								1	
	臨床遺伝学	1・2後		1								2	
	移植医学	1・2後		1								1	
	リハビリテーション医学	1・2後		1								2	
	医学工学概論	1・2後		1								6	
	実験動物学	1・2後		1								1	
	看護理論	1・2前		2								3	
	看護倫理	1・2前		2								3	
	コンサルテーション論	1・2前		2								2	
	リサーチナース・C	1・2後		2		1						9	
	RC養成ユニット												
	先端的・分野特異的 研究手法体験ユニット	1・2通		2									1
	看護研究方法	1・2前		2									2
	看護政策論	1・2後		2									3
	バイオ統計基礎ユニット	1・2前		1					1				
	バイオ統計応用ユニット	1・2前		2		1			1				
	知的財産権論(未開講)	1・2後		2									2
	臨床研究入門	1・2通		2									1
	医療サービス統計論(未開講)	1・2後		2		1	1						1
	医療サービス知識創造論	1・2後		2									1
	医療サービス・イノ ベーション論	1・2後		2									1
	臨床薬理学概論	1・2後		2									5
	フィジカルアセスメント	1・2前		2									4
病態生理学	1・2後		2									5	
小計(31科目)	-			50		2	1	2			-	64	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用科目（総合生命科学）	研究マネジメント(未開講)	1前		2		1						
	サイエンスコミュニケーション(未開講)	1前		2		3	1	1				1
	科学文章の書き方と論文作成(未開講)	1後		2		2						
	研究倫理(未開講)	1前		2		2	1	2				
	バイオベンチャー論(未開講)	1後		2		1						0
	分子細胞生物学(未開講)	1前・後		2		1	0	0	0			0
	ゲノム生物学概論(未開講)	1前・後		2		1		0				
	疾患の生命科学(未開講)	1前		2		1						
	細胞内オルガネラの分子生物学(未開講)	1前		2		1			1	0		
	細胞シグナリング(未開講)	1前		2		0	0		1			
	臓器相関の分子生物学(未開講)	1後		2		1	1					
	居食調節・ストレス・老化の科学(未開講)	1後		2		1	1					
	生体のエネルギー代謝科学(未開講)	1後		2		1	1	0	0			
	バイオサイエンス実験法(未開講)	1後	2			1	0	0	0	0		0
	バイオサイエンス実験法(実習)(未開講)	2前	2			1	0	0	2			0
	実験動物のサイエンス(未開講)	1後	2				1		0			
	実験動物のサイエンス(実習)(未開講)	2前	2				1		1			
	モデル生物のサイエンスI: 酵母(未開講)	1後	2			1			0			
	モデル生物のサイエンスI: 酵母(実習)(未開講)	2前	2			1			2			
	モデル生物のサイエンスI: ショウジョウバエ、線虫(未開講)	1後	2			1		1				0
	モデル生物のサイエンスII: ショウジョウバエ、線虫(実習)(未開講)	2前	2			1		1				0
	バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論(未開講)	2前	2				1					0
	バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論(実習)(未開講)	2後	2				1					0
	バイオサイエンス研究の	2前	2			1						
	プロトコル作成と研究デザイン(未開講)	2後	2			1						
	バイオサイエンス研究のプロ	2前	2			1						
トコル作成と研究デザイン(実習)(未開講)	2後	2			1							
バイオベンチャー・インターンシップ(未開講)	2前	2			1						0	
小計(26科目)		-	18	34		3	3	2	3	-	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門応用科目（バイオ統計学）	生命倫理Ⅱ	1・2後		2		1					
	臨床試験の基礎とデータ解析	1後		2		1					
	医用データ解析	1前		2							1
	バイオデータ解析入門	1前		2		1	1				
	観察データ解析概論	1前		2							1
	ゲノムサイエンス概論	1前		2							1
	バイオインフォマティクス特論Ⅰ	1前		1							1
	薬物動態・薬力学データの解析	1後		1							1
	バイオ統計基礎	1前		4		1	1	1			
	バイオ統計数理	1前		4		1		1			
	生存分析とその応用	1後		2							1
	観察データ解析特論Ⅰ	1前		1							1
	バイオ統計セミナーⅠ	1・2前		3		2	2	1			1
	バイオインフォマティクスセミナーⅠ	1・2前		3		2	2	1			1
	プロトコル作成と研究デザイン	2前		1		1	1				
	観察データ解析特論Ⅱ	1後		1							1
	バイオインフォマティクス特論Ⅱ	2前		1							1
	バイオ統計セミナーⅡ	1・2後		4		2	2				1
	バイオインフォマティクスセミナーⅡ	1・2後		4		2	2	1			1
	環境データ解析特論	1後		1		1					1
バイオデータモデリング	1後		2			1					
バイオデータマイニング	1前		2							1	
臨床データ解析特論	1後		1							1	
小計(26科目)	-		48		2	2	1			-	13
合計(80科目)	-	18	132	0	5	5	3	3			75

卒業要件及び履修方法

(総合生命科学専攻)基礎科目の選択科目から10単位、専門応用科目(総合生命科学)の必修科目18単位、専門応用科目(総合生命科学)の選択科目8単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した者。
(バイオ統計学専攻)専門応用科目(バイオ統計学)の選択科目30単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した者。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【※】」による授業科目には「【臨】」、「【臨】」、「【連】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容を検討し、「社会医学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・非常勤退任に伴い、「医学工学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担7」から「兼任・兼担6」に変更。
- ・非常勤退任に伴い、「看護政策論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・教育効果を検討し、「医療サービス統計論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「社会医学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・教育内容を検討し、「科学文章の書き方と論文作成」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・教育内容を検討し、「研究倫理」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオベンチャー論」の専任教員等の配置を「兼任2」から「教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「分子細胞生物学」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「講師2」「助教2」「兼務1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「ゲノム生物学概論」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「疾患の生命科学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「細胞内オルガネラの分子生物学」の専任教員等の配置を「講師1」「助教1」から「講師1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「細胞シグナリング」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「講師1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「臓器相関の分子生物学」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「生体のエネルギー代謝科学」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオサイエンス実験法」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「講師2」「助教2」「兼担1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオサイエンス実験法（実習）」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「講師2」「助教2」「兼担1」から「教授1」「助教2」に変更。
- ・教育内容を検討し、「実験動物のサイエンス」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授1」のみに変更。
- ・教育内容を検討し、「モデル生物のサイエンスI：酵母」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」のみに変更。
- ・教育内容を検討し、「モデル生物のサイエンスI：酵母（実習）」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「助教2」のみに変更。
- ・教育内容を検討し、「モデル生物のサイエンスII：ショウジョウバエ、線虫」の専任教員等の配置を「講師1」「兼担1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「モデル生物のサイエンスII：ショウジョウバエ、線虫（実習）」の専任教員等の配置を「講師1」「兼担1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論（実習）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオベンチャー・インターンシップ」の専任教員等の配置を「兼担2」から「教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオ統計基礎」の専任教員等の配置のうち「教授2」を「教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオ統計セミナーI」の専任教員等の配置のうち「准教授3」を「准教授2」に変更。
- ・教育内容を検討し、「プロトコル作成と研究デザイン」の専任教員等の配置に「教授1」を追加。
- ・教育内容を検討し、「バイオインフォマティクスセミナーII」の専任教員等の配置のうち「准教授3」を「准教授2」に変更。

【令和2年度】

- ・教育内容を検討し、「生物学特論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・教育内容を検討し、「臨床遺伝学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・教育内容を検討し、「医学工学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・教育内容を検討し、「実験動物学」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教育内容を検討し、「看護理論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼務・担当4」に変更。
- ・教育内容を検討し、「リサーチナース・CRC養成ユニット」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」へ変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオ統計基礎ユニット」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオ統計応用ユニット」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教育効果を検討し、「医療サービス統計論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教育内容を検討し、「サイエンスコミュニケーション」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオサイエンス実験法」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・教育内容を検討し、「実験動物のサイエンス」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「准教授0」「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「実験動物のサイエンス（実習）」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「准教授0」「兼務・兼担0」から「兼務・兼担1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論（実習）」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「准教授0」「兼務・兼担0」から「兼務・兼担1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオデータ解析入門」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオ統計数理」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオ統計セミナーI」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオインフォマティクスセミナーI」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオ統計セミナーII」の専任教員等の配置を、「講師0」から「講師1」「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・教育内容を検討し、「バイオインフォマティクスセミナーII」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	72 科目	0 科目	80 科目	8 科目 [0]	72 科目 [0]	0 科目 [0]	80 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{80} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	220,462.04㎡	2,175.88㎡	675.04㎡	223,312.96㎡				
	運動場用地	81,911.53㎡	32,465.00㎡	— ㎡	114,376.53㎡				
	小計	302,373.57㎡	34,640.88㎡	675.04㎡	337,689.49㎡				
	その他	181,000.16㎡	— ㎡	— ㎡	181,000.16㎡				
	合計	483,373.73㎡	34,640.88㎡	675.04㎡	518,689.65㎡				
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	臨検校との共用				
	(138,091.98㎡)	(2,838.18㎡)	(3,025.65㎡)	(143,955.81㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	18室	42室	29室	2室 (補助職員 1人)	— 室 (補助職員 — 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数					
	医学研究科修士課程総合生命科学・バイオ統計学専攻			15 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	図書、学術雑誌、視聴覚資料、機械・器具の増加分は新規購入による(2) 図書・学術雑誌・視聴覚資料は学科単位での特定不能のため、医学部全体の数。	
	医学研究科修士課程総合生命科学・バイオ統計学専攻	277,228 [123,982] 278,834 [123,825] (277,228 [123,982]) (276,752 [123,721])	4,169 [2,341] 4,190 [2,344] (4,169 [2,341]) (4,146 [2,336])	2,688 [1,264] 2,663 [1,211] (2,688 [1,264]) (2,669 [1,287])	1,464 1,491 (1,464) (1,473)	730 707 (730) (707)	0 (0)		
	計	277,228 [123,982] 278,834 [123,825] (277,228 [123,982]) (276,752 [123,721])	4,169 [2,341] 4,190 [2,344] (4,169 [2,341]) (4,146 [2,336])	2,688 [1,264] 2,663 [1,211] (2,688 [1,264]) (2,669 [1,287])	1,464 1,491 (1,464) (1,473)	730 707 (730) (707)	0 (0)		
(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		臨検校との共用			
	2,838.18㎡	218		384,250					
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	2,009.66㎡	ソフトボール場、テニスコート、25mプール、弓道場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	完成年度の教員1人当り研究費等は当初予算額に変更したため(2) 完成年度の共同研究費等は当初予算額に変更したため(2) 開設年度の図書購入費は執行額に変更したため(2) 完成年度の図書購入費は当初予算額に変更したため(2) 開設前年度の図書購入費は執行額に変更したため(元) 開設年度の図書購入費は当初予算額に変更したため(元)
		教員1人当り研究費等	25,878千円	22,783千円 25,878千円	図書購入費	757千円 600千円	593千円 810千円 600千円	800千円 600千円	
		共同研究費等	5,000千円	290千円 5,000千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		900千円	660千円	千円	千円	千円	千円	他学卒	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等						千円 千円 本学卒	

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	久留米大学								備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部						1.14					
心理学科	4	87	3年次1	349	学士(心理学)	1.11	1.03		平成14	福岡県久留米市御井町1635番地	令和2年度入学定員増(1)及び編入学定員減(Δ2)
情報社会学科	4	54	3年次1	216	学士(社会学)	1.18	1.05		平成14	同上	令和2年度入学定員増(1)及び編入学定員減(Δ1)
国際文化学科	4	106	3年次2	426	学士(文学)	1.15	1.21		平成4	同上	令和2年度入学定員増(2)及び編入学定員減(Δ4)
社会福祉学科	4	52	3年次1	211	学士(社会福祉学)	1.12	1.03		平成12	同上	令和2年度入学定員増(1)及び編入学定員減(Δ4)
人間健康学部						1.12					
総合子ども学科	4	50	-	200	学士(教育学)	1.05	1.02		平成29	同上	
スポーツ医科学科	4	70	-	280	学士(スポーツ医科学)	1.20	1.17		平成29	同上	
法学部						1.16					2年次より学科が分かれて進級する
法律学科	4	224	3年次4	915	学士(法学)	1.16	1.13		昭和62	同上	令和2年度編入学定員減(Δ11)
国際政治学科	4	70	-	262	学士(法学)	1.16	1.13		平成6	同上	令和2年度入学定員増(6)
経済学科						1.17					2年次より学科が分かれて進級する
経済学科	4	157	3年次2	635	学士(経済学)	1.17	1.13		平成6	同上	令和2年度編入学定員減(Δ3)
文化経済学科	4	100	3年次2	398	学士(経済学)	1.17	1.13		平成14	同上	令和2年度入学定員増(3)及び編入学定員減(Δ3)
商学部						1.16					
商学科	4	250	-	1,000	学士(商学)	1.16	1.14		昭和25	同上	
医学部						1.03					
医学科	6	115	-	690	学士(医学)	1.00	1.00		昭和27	福岡県久留米市旭町67番地	
看護学科	4	110	-	440	学士(看護学)	1.06	1.07		平成6	福岡県久留米市東楯原町777番地1	
大学全体	-	1,445	13	6,022	-	1.13	-	-	-	-	
大学院比較文化研究科											
前期博士課程						0.41					
比較文化専攻	2	30	-	60	修士(文学、社会学、保健福祉学、法学、政治学、経済学、商学、学術)	0.41	0.30		平成元	福岡県久留米市御井町1635番地	
後期博士課程						0.30					
比較文化専攻	3	12	-	36	博士(文学、社会学、保健福祉学、法学、政治学、経済学、商学、学術)	0.30	0.41		平成3	同上	

大学院心理学研究科													
前期博士課程						0.43							
臨床心理学専攻	2	15	-	30	修士 (臨床心理 学)	0.86	0.86		平成13		同上		
人間行動心理学専攻	2	5	-	10	修士 (心理学)	0.00	0.00		平成13		同上		
後期博士課程						0.13							
心理学専攻	3	5	-	15	博士 (心理学)	0.13	0.00		平成13		同上		
大学院ビジネス研究科													
修士課程						0.37							
ビジネス専攻	2	12	-	24	修士 (商学、経 済学)	0.37	0.25		平成17		同上		
大学院医学研究科													
修士課程						0.87							
総合生命科学・ バイオ統計学専攻	2	8	-	16	修士 (医科学)	0.62	0.75		平成31	福岡県久留米市 旭町67番地			
医科学専攻	2	8	-	16	修士 (医科学)	0.74	0.62	平成31	平成13		同上		平成31年度 入学定員減 (Δ2)
看護学専攻	2	15	-	30	修士 (看護学)	1.26	1.33		平成28		同上		
博士課程						0.86							
生理系専攻	4	4	-	16	博士 (医学、医 学バイオ統 計学、看護 学)	0.25	0.25		昭和31		同上		
病理系専攻	4	3	-	12	博士 (医学、医 学バイオ統 計学、看護 学)	1.66	1.66		昭和31		同上		
社会医学系専攻	4	8	-	32	博士 (医学、医 学バイオ統 計学、看護 学)	0.81	1.12		昭和31		同上		
個別最適医療系 専攻	4	20	-	80	博士 (医学、医 学バイオ統 計学、看護 学)	0.75	0.7		平成15		同上		
大学院全体	-	145	-	377	-	0.48		-	-		-		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<久留米大学大学院 修士課程総合生命科学・バイオ統計学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
専任	児島 将康 (60) <平成31年4月> 医学博士	専任	児島 将康 (60) <平成31年4月> 医学博士	専任	児島 将康 (60) <平成31年4月> 医学博士
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
	研究マネジメント サイエンスコミュニケーション 科学文章の書き方と論文作成 研究倫理 分子細胞生物学 細胞の生体科学 細胞シグナリング 臓器相関の分子生物学 摂食調節・ストレス・老化の科学 生体のエネルギー代謝科学 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) 人体機能学※		研究マネジメント サイエンスコミュニケーション 科学文章の書き方と論文作成 研究倫理 バイオベンチャー論 臓器相関の分子生物学 摂食調節・ストレス・老化の科学 生体の材料-代謝科学 モデル生物のサイエンスⅡ ショウジョウバエ、線虫 モデル生物のサイエンスⅡ ショウジョウバエ、線虫(実習) バイオベンチャー・インターンシップ 人体機能学※		研究マネジメント サイエンスコミュニケーション 科学文章の書き方と論文作成 研究倫理 バイオベンチャー論 臓器相関の分子生物学 摂食調節・ストレス・老化の科学 生体の材料-代謝科学 モデル生物のサイエンスⅡ ショウジョウバエ、線虫 モデル生物のサイエンスⅡ ショウジョウバエ、線虫(実習) バイオベンチャー・インターンシップ 人体機能学※
専任	齋藤 成昭 (47) <平成31年4月> 博士(理学)	専任	齋藤 成昭 (47) <平成31年4月> 博士(理学)	専任	齋藤 成昭 (47) <平成31年4月> 博士(理学)
	サイエンスコミュニケーション 科学文章の書き方と論文作成 研究倫理 分子細胞生物学 ゲノム生物学概論 生体のエネルギー代謝科学 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) モデル生物のサイエンスⅠ: 酵母 モデル生物のサイエンスⅠ: 酵母(実習)		サイエンスコミュニケーション 科学文章の書き方と論文作成 研究倫理 分子細胞生物学 ゲノム生物学概論 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) モデル生物のサイエンスⅠ: 酵母 モデル生物のサイエンスⅠ: 酵母(実習)		サイエンスコミュニケーション 科学文章の書き方と論文作成 研究倫理 分子細胞生物学 ゲノム生物学概論 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) モデル生物のサイエンスⅠ: 酵母 モデル生物のサイエンスⅠ: 酵母(実習)
専任	青木 浩樹 (57) <平成31年4月> 医学博士	専任	青木 浩樹 (57) <平成31年4月> 医学博士	専任	青木 浩樹 (57) <平成31年4月> 医学博士
	サイエンスコミュニケーション 科学文章の書き方と論文作成 研究倫理 分子細胞生物学 疾患の生命科学 臓器相関の分子生物学 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン(実習)		サイエンスコミュニケーション 疾患の生命科学 バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン(実習)		サイエンスコミュニケーション 疾患の生命科学 バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン(実習)
専任	角間 辰之 (63) <平成31年4月> 医学統計学博士 (Ph. D.) (米國)	専任	角間 辰之 (63) <平成31年4月> 医学統計学博士 (Ph. D.) (米國)	専任	角間 辰之 (63) <平成31年4月> 医学統計学博士 (Ph. D.) (米國)
	バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン(実習) 生命倫理Ⅱ 臨床試験の基礎とデータ解析 バイオデータ解析入門 バイオ統計セミナーⅠ バイオインフォマティクスセミナーⅠ バイオ統計セミナーⅡ バイオインフォマティクスセミナーⅡ リサーチナース・CRC養成ユニット バイオ統計応用ユニット 医療サービスタ統計論		生命倫理Ⅱ 臨床試験の基礎とデータ解析 バイオデータ解析入門 バイオ統計セミナーⅠ バイオインフォマティクスセミナーⅠ バイオ統計セミナーⅡ バイオインフォマティクスセミナーⅡ リサーチナース・CRC養成ユニット バイオ統計応用ユニット 医療サービスタ統計論		生命倫理Ⅱ 臨床試験の基礎とデータ解析 バイオデータ解析入門 バイオ統計セミナーⅠ バイオインフォマティクスセミナーⅠ バイオ統計セミナーⅡ バイオインフォマティクスセミナーⅡ リサーチナース・CRC養成ユニット バイオ統計応用ユニット バイオ統計応用ユニット
専任	古川 恭治 (50) <平成31年4月> 統計科学博士 (Ph. D.) (米國)	専任	古川 恭治 (50) <平成31年4月> 統計科学博士 (Ph. D.) (米國)	専任	古川 恭治 (50) <平成31年4月> 統計科学博士 (Ph. D.) (米國)
	バイオ統計基礎 バイオ統計基礎 環境データ解析特論 バイオ統計セミナーⅠ バイオインフォマティクスセミナーⅠ バイオ統計セミナーⅡ バイオインフォマティクスセミナーⅡ		バイオ統計基礎 バイオ統計基礎 環境データ解析特論 バイオ統計セミナーⅠ バイオインフォマティクスセミナーⅠ バイオ統計セミナーⅡ バイオインフォマティクスセミナーⅡ		バイオ統計基礎 バイオ統計基礎 環境データ解析特論 バイオ統計セミナーⅠ バイオインフォマティクスセミナーⅠ バイオ統計セミナーⅡ バイオインフォマティクスセミナーⅡ
専任	佐藤 貴弘 (45) <平成31年4月> 博士(農学)	専任	佐藤 貴弘 (45) <平成31年4月> 博士(農学)	専任	佐藤 貴弘 (45) <平成31年4月> 博士(農学)
	サイエンスコミュニケーション 研究倫理 分子細胞生物学 臓器相関の分子生物学 摂食調節・ストレス・老化の科学 生体のエネルギー代謝科学 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習)		サイエンスコミュニケーション 研究倫理 臓器相関の分子生物学 摂食調節・ストレス・老化の科学 生体の材料-代謝科学		サイエンスコミュニケーション 研究倫理 臓器相関の分子生物学 摂食調節・ストレス・老化の科学 生体の材料-代謝科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
専任	准教授	石井 一夫 (54) <平成31年4月> 博士(医学)	専任	准教授	石井 一夫 (54) <平成31年4月> 博士(医学)	専任	准教授	石井 一夫 (54) <平成31年4月> 博士(医学)
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論 バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論(実習) バイオデータモデリング バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII			医療サービス統計論 バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論 バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論(実習) バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII バイオデータモデリング			医療サービス統計論 バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論 バイオサイエンスのデータベース・大規模データベース解析論(実習) バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII バイオデータモデリング バイオ統計基礎ユニット
専任	准教授	壺谷 健太 (38) <平成31年4月> 博士 (医学バイオ統計学)	専任	准教授	壺谷 健太 (38) <平成31年4月> 博士 (医学バイオ統計学)	専任	准教授	壺谷 健太 (38) <平成31年4月> 博士 (医学バイオ統計学)
		バイオデータ解析入門 プロトコル作成と研究デザイン バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII バイオ統計基礎			バイオ統計応用ユニット プロトコル作成と研究デザイン バイオデータ解析入門 バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII バイオ統計基礎			バイオ統計応用ユニット プロトコル作成と研究デザイン バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII バイオ統計基礎 バイオ統計基礎 リサーチナース・CRJ養成ユニット
専任	准教授	宮本 貴重 (44) <平成31年4月> 博士(工学)	専任	准教授	宮本 貴重 (44) <平成31年4月> 博士(工学)	専任	准教授	宮本 貴重 (44) <平成31年4月> 博士(工学)
		バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII 医療サービス統計論			医療サービス統計論			医療サービス統計論
専任	准教授	御船 弘治 (61)(高) <平成31年4月> 博士(農学)	専任	准教授	御船 弘治 (61)(高) <平成31年4月> 博士(農学)			
		実験動物のサイエンス 実験動物のサイエンス(実習) 実験動物学			実験動物のサイエンス 実験動物のサイエンス(実習) 実験動物学			
専任	講師	伴 匠人 (42) <平成31年4月> 博士(理学)	専任	講師	伴 匠人 (42) <平成31年4月> 博士(理学)	専任	講師	伴 匠人 (42) <平成31年4月> 博士(理学)
		サイエンスコミュニケーション 研究倫理 分子細胞生物学 細胞内オルガネラの分子生物学 生体のエネルギー代謝科学 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習)			研究倫理 細胞内オルガネラの分子生物学 細胞シグナリング			研究倫理 細胞内オルガネラの分子生物学 細胞シグナリング
専任	講師	佐野 浩子 (44) <平成31年4月> 博士(理学)	専任	講師	佐野 浩子 (44) <平成31年4月> 博士(理学)	専任	講師	佐野 浩子 (44) <平成31年4月> 博士(理学)
		研究倫理 分子細胞生物学 遺伝子工学 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) モデル生物のサイエンスI: ショウジョウバエ、線虫 モデル生物のサイエンスII: ショウジョウバエ、線虫(実習)			サイエンスコミュニケーション 研究倫理 モデル生物のサイエンスI: ショウジョウバエ、線虫 モデル生物のサイエンスII: ショウジョウバエ、線虫(実習)			サイエンスコミュニケーション 研究倫理 モデル生物のサイエンスI: ショウジョウバエ、線虫 モデル生物のサイエンスII: ショウジョウバエ、線虫(実習)
専任	講師	大山 哲司 (40) <平成31年4月> 博士 (医学バイオ統計学)	専任	講師	大山 哲司 (40) <平成31年4月> 博士 (医学バイオ統計学)	専任	講師	大山 哲司 (40) <平成31年4月> 博士 (医学バイオ統計学)
		バイオ統計基礎 バイオ統計基礎 バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII バイオ統計基礎ユニット バイオ統計応用ユニット			バイオ統計基礎 バイオ統計基礎 バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII バイオ統計基礎ユニット			バイオ統計基礎 バイオ統計基礎 バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセミナーII バイオ統計基礎ユニット
専任	助教	椎村 祐樹 (35) <平成31年4月> 博士(医学)	専任	助教	椎村 祐樹 (35) <平成31年4月> 博士(医学)	専任	助教	椎村 祐樹 (35) <平成31年4月> 博士(医学)
		分子細胞生物学 生体のエネルギー代謝科学 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習)						
専任	助教	豊田 雄介 (42) <平成31年4月> 博士(生命科学)	専任	助教	豊田 雄介 (42) <平成31年4月> 博士(生命科学)	専任	助教	豊田 雄介 (42) <平成31年4月> 博士(生命科学)
		分子細胞生物学 細胞内オルガネラの分子生物学 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) モデル生物のサイエンスI: 酵母 モデル生物のサイエンスII: 酵母(実習)			バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) モデル生物のサイエンスI: 酵母(実習)			バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) モデル生物のサイエンスI: 酵母(実習)
専任	助教	坂井 勇介 (36) <平成31年4月> 博士(医学)	専任	助教	坂井 勇介 (36) <平成31年4月> 博士(医学)	専任	助教	坂井 勇介 (36) <平成31年4月> 博士(医学)
		実験動物のサイエンス 実験動物のサイエンス(実習)			実験動物のサイエンス(実習)			実験動物のサイエンス 実験動物のサイエンス(実習) 実験動物学
						専任	助教	石川 健 (41) <令和2年4月> 博士(理学)
								バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) モデル生物のサイエンスI: 酵母(実習)

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山本 宏一 (64) (高) <平成31年4月> 医学博士	人体構造学※	兼任	教授	山本 宏一 (64) (高) <平成31年4月> 医学博士	人体構造学※	兼任	教授	山本 宏一 (64) (高) <平成31年4月> 医学博士	人体構造学※
兼任	教授	鳥村 拓司 (62) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※ フィジカルアセスメント	兼任	教授	鳥村 拓司 (62) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※ フィジカルアセスメント	兼任	教授	鳥村 拓司 (62) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※ フィジカルアセスメント
兼任	教授	田中 芳明 (62) <平成31年4月> 医学博士	リサーチナース・CRC養成ユニット	兼任	教授	田中 芳明 (62) <平成31年4月> 医学博士	リサーチナース・CRC養成ユニット	兼任	教授	田中 芳明 (62) <平成31年4月> 医学博士	リサーチナース・CRC養成ユニット
兼任	教授	志波 直人 (62) <平成31年4月> 医学博士	リハビリテーション医学	兼任	教授	志波 直人 (62) <平成31年4月> 医学博士	リハビリテーション医学	兼任	教授	志波 直人 (62) <平成31年4月> 医学博士	リハビリテーション医学
兼任	教授	安達 洋祐 (60) <平成31年4月> 医学博士	医学教育学	兼任	教授	安達 洋祐 (60) <平成31年4月> 医学博士	医学教育学	兼任	教授	安達 洋祐 (60) <平成31年4月> 医学博士	医学教育学
兼任	教授	古賀 晴敏 (63) <平成31年4月> 医学博士	リサーチナース・CRC養成ユニット	兼任	教授	古賀 晴敏 (63) <平成31年4月> 医学博士	リサーチナース・CRC養成ユニット	兼任	教授	古賀 晴敏 (63) <平成31年4月> 医学博士	リサーチナース・CRC養成ユニット
兼任	教授	吉星 俊幸 (56) <平成31年4月> 医学博士	臨床遺伝学	兼任	教授	吉星 俊幸 (56) <平成31年4月> 医学博士	臨床遺伝学	兼任	教授	吉星 俊幸 (56) <平成31年4月> 医学博士	臨床遺伝学
兼任	教授	西 昭徳 (58) <平成31年4月> 博士(医学)	臨床医学概論※ 先端的・分野特異的研究手法体験ユニット 臨床薬理学概論	兼任	教授	西 昭徳 (58) <平成31年4月> 博士(医学)	臨床医学概論※ 先端的・分野特異的研究手法体験ユニット 臨床薬理学概論	兼任	教授	西 昭徳 (58) <平成31年4月> 博士(医学)	臨床医学概論※ 先端的・分野特異的研究手法体験ユニット 臨床薬理学概論
兼任	教授	田中 永一郎 (61) <平成31年4月> 医学博士	人体機能学※ 生命倫理 I	兼任	教授	田中 永一郎 (61) <平成31年4月> 医学博士	人体機能学※ 生命倫理 I	兼任	教授	田中 永一郎 (61) <平成31年4月> 医学博士	人体機能学※ 生命倫理 I
兼任	教授	赤木 由人 (61) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※	兼任	教授	赤木 由人 (61) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※	兼任	教授	赤木 由人 (61) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※
兼任	教授	山田 亮 (62) <平成31年4月> 医学博士	リサーチナース・CRC養成ユニット	兼任	教授	山田 亮 (62) <平成31年4月> 医学博士	リサーチナース・CRC養成ユニット	兼任	教授	山田 亮 (62) <平成31年4月> 医学博士	リサーチナース・CRC養成ユニット
兼任	教授	矢野 博久 (60) <平成31年4月> 医学博士	臨床研究入門	兼任	教授	矢野 博久 (60) <平成31年4月> 医学博士	臨床研究入門	兼任	教授	矢野 博久 (60) <平成31年4月> 医学博士	臨床研究入門
兼任	教授	野村 政壽 (56) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※	兼任	教授	野村 政壽 (56) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※	兼任	教授	野村 政壽 (56) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※ リサーチナース・CRC養成ユニット
兼任	教授	桑野 剛一 (64) (高) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※	兼任	教授	桑野 剛一 (64) (高) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※	兼任	教授	桑野 剛一 (64) (高) <平成31年4月> 医学博士	臨床医学概論※
兼任	教授	神田 秀郎 (58) <平成31年4月> 医学博士	社会医学概論※ リサーチナース・CRC養成ユニット 看護倫理	兼任	教授	神田 秀郎 (58) <平成31年4月> 医学博士	臨床研究入門 社会医学概論※ リサーチナース・CRC養成ユニット 看護倫理 知的財産権	兼任	教授	神田 秀郎 (58) <平成31年4月> 医学博士	臨床研究入門 社会医学概論※ リサーチナース・CRC養成ユニット 看護倫理 知的財産権
兼任	教授	石竹 達也 (58) <平成31年4月> 医学博士	社会医学概論※	兼任	教授	石竹 達也 (58) <平成31年4月> 医学博士	社会医学概論※	兼任	教授	石竹 達也 (58) <平成31年4月> 医学博士	社会医学概論※
兼任	教授	溝口 亮志 (57) <平成31年4月> 博士(医学)	人体機能学※	兼任	教授	溝口 亮志 (57) <平成31年4月> 博士(医学)	人体機能学※	兼任	教授	溝口 亮志 (57) <平成31年4月> 博士(医学)	人体機能学※
兼任	教授	吉田 雅生 (50) <平成31年4月> 医学博士	医学工学概論	兼任	教授	吉田 雅生 (50) <平成31年4月> 医学博士	医学工学概論	兼任	教授	吉田 雅生 (50) <平成31年4月> 医学博士	医学工学概論
兼任	教授	中村 桂一郎 (63) <平成31年4月> 医学博士	人体構造学※	兼任	教授	中村 桂一郎 (63) <平成31年4月> 医学博士	人体構造学※	兼任	教授	中村 桂一郎 (63) <平成31年4月> 医学博士	人体構造学※

兼任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	谷脇 考彦 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	谷脇 考彦 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	谷脇 考彦 (50) <平成31年4月> 博士(医学)
		臨床医学概論※			臨床医学概論※			臨床医学概論※
兼任	教授	藤達 浩 (58) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	藤達 浩 (58) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	藤達 浩 (58) <平成31年4月> 博士(医学)
		臨床医学概論※ 社会医学概論※			臨床医学概論※ 社会医学概論※			臨床医学概論※ 社会医学概論※
兼任	教授	平木 麗之 (48) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	平木 麗之 (48) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	平木 麗之 (48) <平成31年4月> 医学博士
		医学工学概論			医学工学概論			医学工学概論
兼任	教授	石原 直忠 (48) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	石原 直忠 (48) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	石原 直忠 (48) <平成31年4月> 博士(理学)
		人体機能学※			人体機能学※			人体機能学※
兼任	教授	鹿野 健 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	鹿野 健 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	鹿野 健 (50) <平成31年4月> 博士(医学)
		人体機能学※			人体機能学※			人体機能学※
兼任	教授	田中 野之 (52) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	田中 野之 (52) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	田中 野之 (52) <平成31年4月> 医学博士
		臨床医学概論※			臨床医学概論※			臨床医学概論※
兼任	教授	福本 善弘 (53) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	福本 善弘 (53) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	福本 善弘 (53) <平成31年4月> 博士(医学)
		臨床医学概論※ フィジカルアセスメント			臨床医学概論※ フィジカルアセスメント			臨床医学概論※ フィジカルアセスメント
兼任	教授	深水 圭 (49) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	深水 圭 (49) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	深水 圭 (49) <平成31年4月> 博士(医学)
		臨床医学概論※			臨床医学概論※			臨床医学概論※
兼任	教授	山本 健 (56) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	山本 健 (56) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	山本 健 (56) <平成31年4月> 博士(医学)
		人体機能学※			人体機能学※			人体機能学※
兼任	教授	東元 祐一郎 (48) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	東元 祐一郎 (48) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	東元 祐一郎 (48) <平成31年4月> 博士(医学)
		化学特論			化学特論			化学特論
兼任	教授	奥田 康司 (63) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	奥田 康司 (63) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	奥田 康司 (63) <平成31年4月> 医学博士
		移植医学			移植医学			移植医学
兼任	教授	上野 高史 (62) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	上野 高史 (62) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	上野 高史 (62) <平成31年4月> 医学博士
		リサーチナース・CRC養成ユニット			リサーチナース・CRC養成ユニット			リサーチナース・CRC養成ユニット
兼任	教授	門田 遊 (55) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	門田 遊 (55) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	門田 遊 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		医学工学概論			医学工学概論			医学工学概論
兼任	教授	佐藤 敬信 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	佐藤 敬信 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	佐藤 敬信 (61) <平成31年4月> 博士(医学)
		看護政策論			看護政策論			看護政策論
兼任	教授	横部 光芳 (61) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	横部 光芳 (61) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	横部 光芳 (61) <平成31年4月> 医学博士
		フィジカルアセスメント 病態生理学			フィジカルアセスメント 病態生理学			フィジカルアセスメント 病態生理学
兼任	教授	三橋 瞳子 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	三橋 瞳子 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	三橋 瞳子 (61) <平成31年4月> 博士(医学)
		フィジカルアセスメント 病態生理学 看護研究方法			フィジカルアセスメント 病態生理学 看護研究方法			フィジカルアセスメント 病態生理学 看護研究方法
兼任	教授	大塚 裕樹 (64) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	大塚 裕樹 (64) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	大塚 裕樹 (64) <平成31年4月> 医学博士
		生物学特論			生物学特論			生物学特論
兼任	教授	中島 洋子 (65)(高) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	古村 義彦代 (58) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	古村 義彦代 (58) <平成31年4月> 博士(医学)
		看護理論 病態生理学			看護理論 病態生理学			看護理論 病態生理学
兼任	教授	原 鏡子 (60) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	原 鏡子 (60) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	原 鏡子 (60) <平成31年4月> 博士(医学)
		看護理論 病態生理学			看護理論 病態生理学			看護理論 病態生理学
兼任	教授	益守 かづき (54) <平成31年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	益守 かづき (54) <平成31年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	益守 かづき (54) <平成31年4月> 博士(看護学)
		看護理論 臨床薬理学概論 病態生理学 看護倫理			看護理論 臨床薬理学概論 病態生理学 看護倫理			看護理論 臨床薬理学概論 病態生理学 看護倫理

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	重松 由佳子 (51) <平成31年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	重松 由佳子 (51) <平成31年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	重松 由佳子 (51) <平成31年4月> 博士(看護学)
		看護政策論			看護政策論			看護政策論
兼任	准教授	渡部 功一 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	渡部 功一 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	渡部 功一 (50) <平成31年4月> 博士(医学)
		人体構造学※			人体構造学※			人体構造学※
兼任	准教授	中尾 元幸 (53) <平成31年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	中尾 元幸 (53) <平成31年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	中尾 元幸 (53) <平成31年4月> 博士(農学)
		社会医学概論			社会医学概論			社会医学概論
兼任	准教授	渡邊 順子 (55) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	渡邊 順子 (55) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	渡邊 順子 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		臨床遺伝学			臨床遺伝学			臨床遺伝学
兼任	准教授	大沼 雅明 (56) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	大沼 雅明 (56) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	大沼 雅明 (56) <平成31年4月> 博士(理学)
		生物学特論			生物学特論			生物学特論
兼任	准教授	長澤 真樹子 (45) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	長澤 真樹子 (45) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	長澤 真樹子 (45) <平成31年4月> 博士(理学)
		物理学特論			物理学特論			物理学特論
兼任	准教授	寿田 雅俊 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	寿田 雅俊 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任		
		医学工学概論			医学工学概論			
兼任	准教授	古賀 綾 (39) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准主幹	古賀 綾 (39) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准主幹	古賀 綾 (39) <平成31年4月> 博士(医学)
		知的財産権論 バイオベンチャー論			知的財産権論			知的財産権論
兼任	准教授	鍋弓 京子 (53) <平成31年4月> 博士(看護学)	兼任	准教授	鍋弓 京子 (53) <平成31年4月> 博士(看護学)	兼任	准教授	鍋弓 京子 (53) <平成31年4月> 博士(看護学)
		コンサルテーション論			コンサルテーション論			コンサルテーション論
兼任	准教授	椎 勇三郎 (43) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	椎 勇三郎 (43) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	椎 勇三郎 (43) <平成31年4月> 博士(医学)
		看護研究方法			看護研究方法			看護研究方法
兼任	准教授	河原 幸江 (52) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	河原 幸江 (52) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	河原 幸江 (52) <平成31年4月> 博士(医学)
		臨床薬理学概論			臨床薬理学概論			臨床薬理学概論
兼任	准教授	松瀬 博夫 (43) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	松瀬 博夫 (43) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	松瀬 博夫 (43) <平成31年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学			リハビリテーション医学			リハビリテーション医学
兼任	講師	大久保 博 (59) <平成31年4月> 理学修士	兼任	講師	大久保 博 (59) <平成31年4月> 理学修士	兼任	講師	大久保 博 (59) <平成31年4月> 理学修士
		物理学特論			物理学特論			物理学特論
兼任	講師	外角 直樹 (46) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	外角 直樹 (46) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	外角 直樹 (46) <平成31年4月> 博士(薬学)
		臨床薬理学概論			臨床薬理学概論			臨床薬理学概論
兼任	講師	首藤 隆秀 (42) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	首藤 隆秀 (42) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	首藤 隆秀 (42) <平成31年4月> 博士(薬学)
		臨床薬理学概論			臨床薬理学概論			臨床薬理学概論
兼任	講師	原 哲人 (44) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	講師	原 哲人 (44) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	講師	原 哲人 (44) <平成31年4月> 博士(医学)
		医学工学概論			医学工学概論			医学工学概論
兼任	講師	副島 美貴子 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	副島 美貴子 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	副島 美貴子 (50) <平成31年4月> 博士(医学)
		社会医学概論※						
兼任	助教	石橋 弘基 (36) <平成31年4月> 学士(医学)	兼任	助教	石橋 弘基 (36) <平成31年4月> 学士(医学)	兼任	助教	石橋 弘基 (36) <平成31年4月> 学士(医学)
		医学工学概論			医学工学概論			医学工学概論
兼任	助教	高橋 知子 (42) <令和2年4月> 博士(医学)				兼任	助教	高橋 知子 (42) <令和2年4月> 博士(医学)
		生物学特論						生物学特論
兼任	助教	沼田 早苗 (52) <令和2年4月> 学士(医学)				兼任	助教	沼田 早苗 (52) <令和2年4月> 学士(医学)
		臨床遺伝学						臨床遺伝学

兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	松本 博行 (70) <平成31年4月> 博士(理学)	松本 博行 (70) <平成31年4月> 博士(理学)	
	サイエンスコミュニケーション 分子細胞生化学 バイオサイエンス実験法 バイオサイエンス実験法(実習) バイオサイエンスのデータベ ース・大規模データベース解析論 バイオサイエンスのデータベ ース・大規模データベース解析論 (実習)		
兼任	上野 隆登 (67) <平成31年4月> 医学博士	上野 隆登 (67) <平成31年4月> 医学博士	上野 隆登 (67) <平成31年4月> 医学博士
	リサーチナース・CRC養成ユ ニット	リサーチナース・CRC養成ユ ニット	リサーチナース・CRC養成ユ ニット
兼任	荒木 賢二 (60) <平成31年4月> 医学博士		
	医療サービス・インノベーション		
兼任	池田 満 (57) <平成31年4月> 工学博士		
	医療サービス知識創造論		
兼任	小笹 晃太郎 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	小笹 晃太郎 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	小笹 晃太郎 (61) <平成31年4月> 博士(医学)
	観察データ解析特論 I	観察データ解析特論 I	観察データ解析特論 I
兼任	柳川 勇 (78) <平成31年4月> 理学博士	柳川 勇 (78) <平成31年4月> 理学博士	柳川 勇 (78) <平成31年4月> 理学博士
	バイオ統計セミナー バイオインフォマティクスセ ミナー バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセ ミナーII	バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセ ミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセ ミナーII	バイオ統計セミナーI バイオインフォマティクスセ ミナーI バイオ統計セミナーII バイオインフォマティクスセ ミナーII
兼任	石原 直忠 (46) <平成31年4月> 博士(理学)		石原 直忠 (46) <平成31年4月> 博士(理学)
	人体機能学※		人体機能学※
兼任	星野 聡 (51) <令和2年4月> 博士(臨床統計学)		星野 聡 (51) <令和2年4月> 博士(臨床統計学)
	バイオインフォマティクスセ ミナーI バイオインフォマティクスセ ミナーII バイオ統計セミナー I バイオ統計セミナー II		バイオインフォマティクスセ ミナーI バイオインフォマティクスセ ミナーII バイオ統計セミナー I バイオ統計セミナー II
兼任	廣瀬 英雄 (69) <令和2年4月> 工学博士		廣瀬 英雄 (69) <令和2年4月> 工学博士
	バイオインフォマティクスセ ミナーI バイオインフォマティクスセ ミナーII バイオ統計セミナー I バイオ統計セミナー II		バイオインフォマティクスセ ミナーI バイオインフォマティクスセ ミナーII バイオ統計セミナー I バイオ統計セミナー II
兼任	新山 修平 (61) <平成31年4月> 博士(医学)		
	医学工学概論		
兼任	中尾 久子 (63) <平成31年4月> 博士(医学)	中尾 久子 (63) <平成31年4月> 博士(医学)	中尾 久子 (63) <平成31年4月> 博士(医学)
	看護倫理	看護倫理	看護倫理
兼任	大内田 昭徳 (66) <平成31年4月> 医学博士	大内田 昭徳 (66) <平成31年4月> 医学博士	大内田 昭徳 (66) <平成31年4月> 医学博士
	リサーチナース・CRC養成ユ ニット	リサーチナース・CRC養成ユ ニット	リサーチナース・CRC養成ユ ニット
兼任	宇佐美 しおり (56) <平成31年4月> 博士(看護学)	宇佐美 しおり (56) <平成31年4月> 博士(看護学)	宇佐美 しおり (56) <平成31年4月> 博士(看護学)
	コンサルテーション論	コンサルテーション論	コンサルテーション論
兼任	岩澤 和子 (63) <平成31年4月> 看護学修士	岩澤 和子 (63) <平成31年4月> 看護学修士	岩澤 和子 (63) <平成31年4月> 看護学修士
	看護政策論	看護政策論	看護政策論
兼任	松田 京子 (53) <平成31年4月> 専修学校		
	看護政策論		
兼任	荒谷 秀和 (59) <平成31年4月> 修士(理学)	荒谷 秀和 (59) <平成31年4月> 修士(理学)	荒谷 秀和 (59) <平成31年4月> 修士(理学)
	リサーチナース・CRC養成ユ ニット	リサーチナース・CRC養成ユ ニット	リサーチナース・CRC養成ユ ニット
兼任	荒戸 照世 (57) <平成31年4月> 博士(医学)	荒戸 照世 (57) <平成31年4月> 博士(医学)	荒戸 照世 (57) <平成31年4月> 博士(医学)
	リサーチナース・CRC養成ユ ニット	リサーチナース・CRC養成ユ ニット	リサーチナース・CRC養成ユ ニット
兼任	藤田 敬子 (70) <平成31年4月> 博士(医学)		
	看護理論		

兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		
兼任	非常勤講師 矢原 耕史 (37) <平成31年4月> 博士 (医学バイオ統計学)	非常勤講師 矢原 耕史 (37) <平成31年4月> 博士 (医学バイオ統計学)	非常勤講師 矢原 耕史 (37) <平成31年4月> 博士 (医学バイオ統計学)
	バイオデータマイニング	バイオデータマイニング	バイオデータマイニング
兼任	非常勤講師 江口 真透 (64) <平成31年4月> 理学博士	非常勤講師 江口 真透 (64) <平成31年4月> 理学博士	非常勤講師 江口 真透 (64) <平成31年4月> 理学博士
	バイオインフォマティクス特論 I	バイオインフォマティクス特論 I	バイオインフォマティクス特論 I
兼任	非常勤講師 折笠 秀樹 (62) <平成31年4月> 医学統計学博士 (Ph.D.) (米産)	非常勤講師 折笠 秀樹 (62) <平成31年4月> 医学統計学博士 (Ph.D.) (米産)	非常勤講師 折笠 秀樹 (62) <平成31年4月> 医学統計学博士 (Ph.D.) 博士(医理学)
	観察データ解析特論 II	観察データ解析特論 II	観察データ解析特論 II
兼任	非常勤講師 笠井 美史 (50) <平成31年4月> 学士(理学)	非常勤講師 笠井 美史 (50) <平成31年4月> 学士(理学)	非常勤講師 笠井 美史 (50) <平成31年4月> 学士(理学)
	薬物動態・薬力学データの解析	薬物動態・薬力学データの解析	薬物動態・薬力学データの解析
兼任	非常勤講師 川口 津 (42) <平成31年4月> 博士(数理学)	非常勤講師 川口 津 (42) <平成31年4月> 博士(数理学)	非常勤講師 川口 津 (42) <平成31年4月> 博士(数理学)
	医用データ解析	医用データ解析	医用データ解析
兼任	非常勤講師 坂田 律 (51) <平成31年4月> 博士(医学)	非常勤講師 坂田 律 (51) <平成31年4月> 博士(医学)	非常勤講師 坂田 律 (51) <平成31年4月> 博士(医学)
	環境データ解析特論	環境データ解析特論	環境データ解析特論
兼任	非常勤講師 館田 美典 (85) <平成31年4月> 理学博士		
	ゲノムサイエンス概論		
兼任	非常勤講師 徳永 寛二 (66) <平成31年4月> 理学博士 博士(医学)		
	臨床データ解析特論		
兼任	非常勤講師 米本 孝二 (45) <平成31年4月> 博士(医学) 博士(数理学)	非常勤講師 米本 孝二 (45) <平成31年4月> 博士(医学) 博士(数理学)	非常勤講師 米本 孝二 (45) <平成31年4月> 博士(医学) 博士(数理学)
	観察データ解析概論	観察データ解析概論	観察データ解析概論
兼任	非常勤講師 井元 清哉 (46) <平成31年4月> 博士(数理学)	非常勤講師 井元 清哉 (46) <平成31年4月> 博士(数理学)	非常勤講師 井元 清哉 (46) <平成31年4月> 博士(数理学)
	バイオインフォマティクス特論 II	バイオインフォマティクス特論 II	バイオインフォマティクス特論 II
兼任	非常勤講師 赤澤 聡平 (59) <平成31年4月> 博士(数理学)	非常勤講師 赤澤 聡平 (59) <平成31年4月> 博士(数理学)	非常勤講師 赤澤 聡平 (59) <平成31年4月> 博士(数理学)
	生存分析とその応用	生存分析とその応用	生存分析とその応用
兼任	非常勤講師 福岡 秀彦 (39) <平成31年4月> 博士(医学)		
	知的財産権論 バイオベンチャー論		
		兼任 非常勤講師 平川 晃弘 (38) <平成31年4月> 博士(工学)	兼任 非常勤講師 平川 晃弘 (38) <平成31年4月> 博士(工学)
		臨床データ解析特論	臨床データ解析特論
		兼任 非常勤講師 山田 亮 (62) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任 非常勤講師 山田 亮 (62) <平成31年4月> 博士(医学)
		ゲノムサイエンス概論	ゲノムサイエンス概論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、置可時又は届出時から変更となっている教員は赤字で記入してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に併用する届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大卒等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、隠してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

特になし。

【令和2年度】

特になし。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
5	5	3	3	16	5	4	3	3	15
(5)	(5)	(3)	(3)	(16)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
5	0	11			5	0	10		
(5)	(0)	(11)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
5	5	3	3	16	5	4	3	3	15
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
5	0	11			5	0	10		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に関設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員数差を考慮済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65（教授） 60（教授以外）	1 [0]	0 [0]
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{16} = \boxed{93.75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		該当無し							
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当無し							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{16} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当無し					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時			

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学研究科 修士課程総合生命科学・バイオ統計学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院医学研究科委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例：1回/月、臨時：随時（大学院医学研究科委員会：医学研究科の教授をもって構成。） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の入学及び課程の修了に関する事項 ・学位の授与に関する事項 ・教育課程の編成に関する事項 ・教員の教育研究業績の審査に関する事項 ・人事に関する事項 ・研究及び教授に関する事項 ・試験に関する事項 ・学生の休学、復学、退学及び転学に関する事項 ・賞罰に関する事項 ・その他研究科に関する重要事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業方法について研究会 ・新任教員のための研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1～2回の教員相互の勉強会を開催して授業等の改善に取り組む。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属教員は、本学医学教育センターがオンラインで提供する教育FDコース(2019年度)を受講した。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各専門分野の研究内容の高度化、学生に対しての研究指導等によって、効果的な授業を行える環境作りを行う。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に学生に対して授業評価のアンケートを行い（口頭で）、次年度の改善に活かす。 <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善した内容は研究科のホームページ上で公開する。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
該当なし
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
該当なし
- c 委員会の審議事項等
該当なし
- d その他
該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容
該当なし
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合生命科学専攻の母体となる分子生命科学研究所は、旭町キャンパス内の基礎3号館に引っ越し、研究・教育の拠点となる設備・施設を整備した。

バイオ統計学群はこれまでの実績があり入学者がいるが、総合生命科学群は宣伝が不十分で初年度の入学者はなかった。セミナーや、学会、Web等を通じた宣伝活動が功を奏し、令和2年度には1名の入学者を得た。

授業計画等のカリキュラムは今後も適宜改善していくことを申し合わせた。

次年度に向けて引き続き、専攻の宣伝と、大学院生の勧誘を行うことを申し合わせた。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
・令和2年10月末 公表予定
- b 公表方法
・大学ホームページ上に公開（令和2年10月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和2年度に評価機関（大学基準協会）の評価受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○久留米大学大学院医学研究科委員会規程

〔平成20年7月25日〕
規程 第20-2号

第1条 大学院医学研究科（以下「研究科」という。）に研究科委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第2条 委員会は、医学研究科の教授をもって構成する。

2 海外旅行中の者及び休職中の者は、研究科委員会構成員に算入しない。

第3条 委員会の委員長は、久留米大学大学院医学研究科科長が兼ねるものとする。

2 委員長に事故あるときは、研究科長があらかじめ指名したものが、議長の職務を行う。

第4条 委員会は、次の事項について、久留米大学大学院学則（以下「学則」という。）第37条第2項に基づき取り扱うものとする。

(1) 学生の入学及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 教育課程の編成に関する事項

(4) 教員の教育研究業績の審査に関する事項

2 委員会は、前項に規定するもののほか、次の事項について、学則第37条第3項に基づき取り扱うものとする。

(1) 人事に関する事項

(2) 研究及び教授に関する事項

(3) 試験に関する事項

(4) 学生の休学、復学、退学及び転学に関する事項

(5) 賞罰に関する事項

(6) その他研究科に関する重要事項

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長が必要と認めるときは、研究科担当及び学部所属の教員を委員会に出席させることができる。

3 委員会を開くには、少なくとも会議の2日前までに構成員に対し、会議の議題、日時及び場所を通知しなければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りでない。

第6条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ開くことができない。ただし、第4条第1項第2号及び第2項第1号の事項に関しては、構成員の3分の2以上の出席がなければならない。

第7条 委員会の審議は、出席者の過半数の同意がなければ決することができない。ただし、第4条第1項第2号及び第2項第1号の事項に関しては、出席者の3分の2以上の同意がなければならない。

2 前項の場合において、議長の教授としての議決権は制限せず、可否同数のとき

は議長が決する。

第8条 委員会に研究科の円滑な運営を図るため、大学院医学小委員会（以下「小委員会」という。）を置く。

第9条 委員会及び小委員会に関する事務は、医学部事務部において処理する。

附 則

この規程は、平成20年8月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。